SOMPO

変革から飛躍へ

レジリエンス強化と未来への飛躍

2026年11月19日

エグゼクティブ・サマリー

喫緊の環境変化をレジリエンス強化で乗り越え、AI時代に向けたビジネスモデル刷新で持続的な企業価値向上を目指す

2026年度

- 通期予想
  - 修正連結利益：**5,400**億円 (上方修正)
  - 修正連結ROE：**12**%程度
  - 修正EPS(中計期間)：年率＋**22**%成長
- 中間期実績
  - 修正連結利益：**2,735**億円 (過去最高益)
- 政策株式削減額
  - **3,000**億円以上 (上方修正)

中期的挑戦

- 修正連結ROE：**13**%以上
- 修正連結利益：**8,000**億円
- 時価総額：**10**兆円

※上記は現時点目標（通期決算発表のタイミングで精緻化予定）

長期的挑戦

- AIの急激な進化に向けた

AI・フィジカルAIプラットフォーム構築

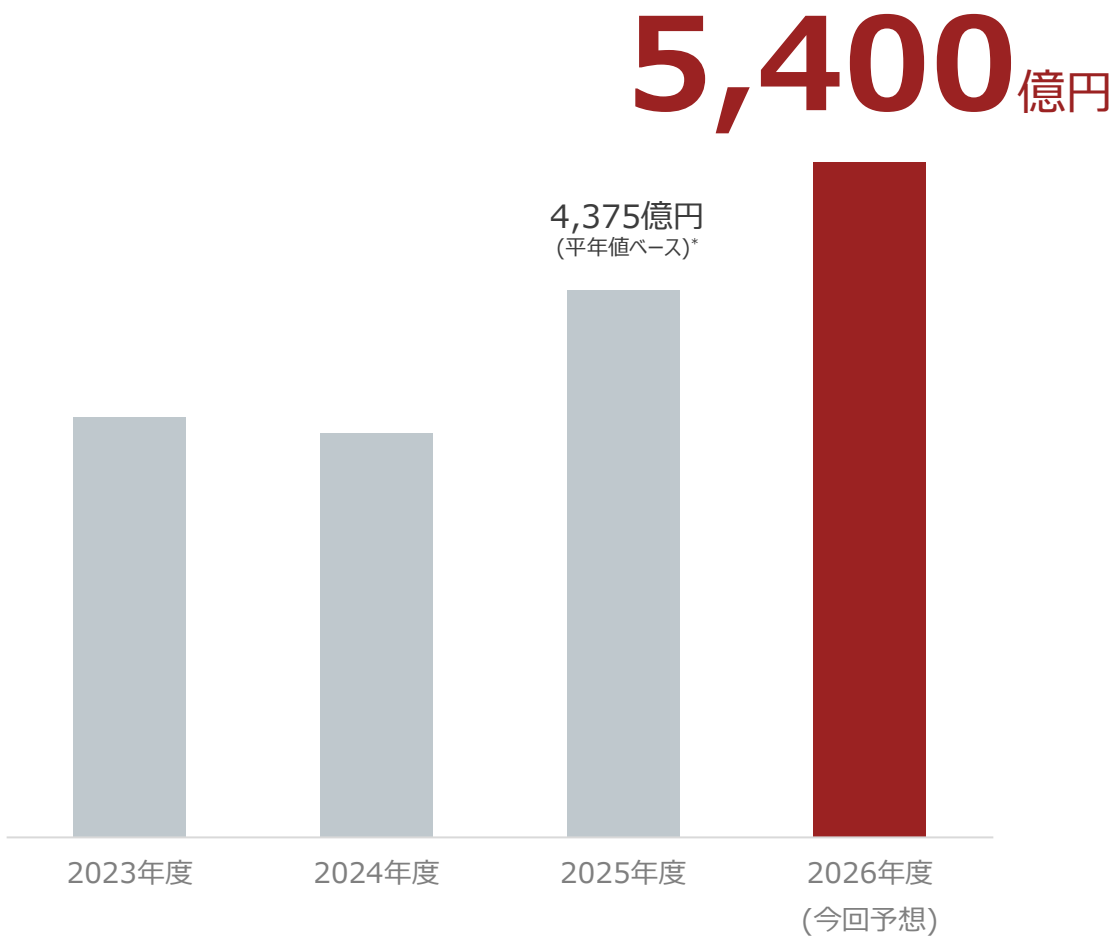


Group CEO Update

強固なレジリエンスから、AI・フィジカルAIが創る未来の成長軌道へ

SOMPO

修正連結利益

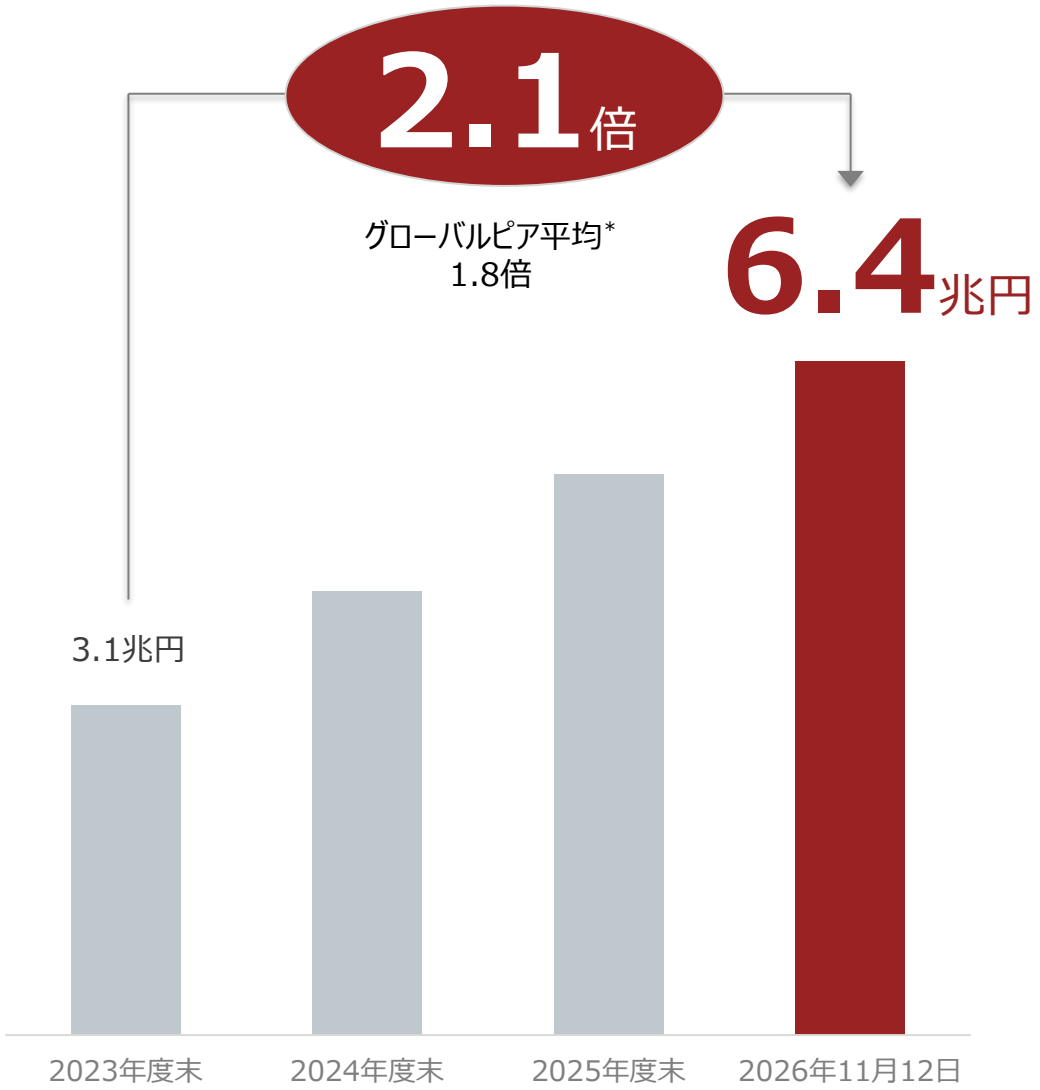


- 2026年度の修正連結利益は
  期初予想を**上方修正**、**過去最高益へ**
- 火災・新種のアンダーライティング強化等により
  収益性改善が大きく貢献

SOMPO

* 実績：5,352億円

時価総額



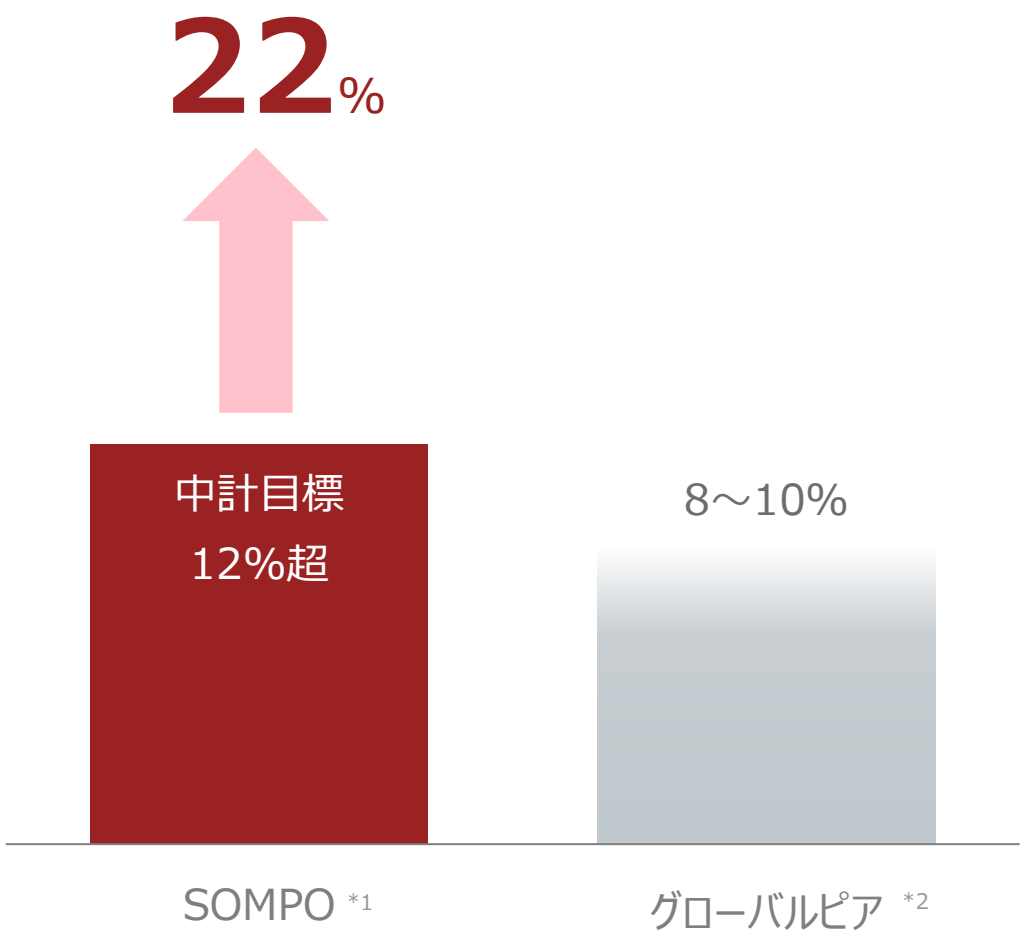
時価総額はグローバルピアの伸びを大きく上回り

過去最高値圏で推移

SOMPO

* グローバルピアはAllianz、AXA、Generali、Zurich、MS&AD、東京海上(順不同)
Bloombergなどを基に当社算出

修正EPS成長率

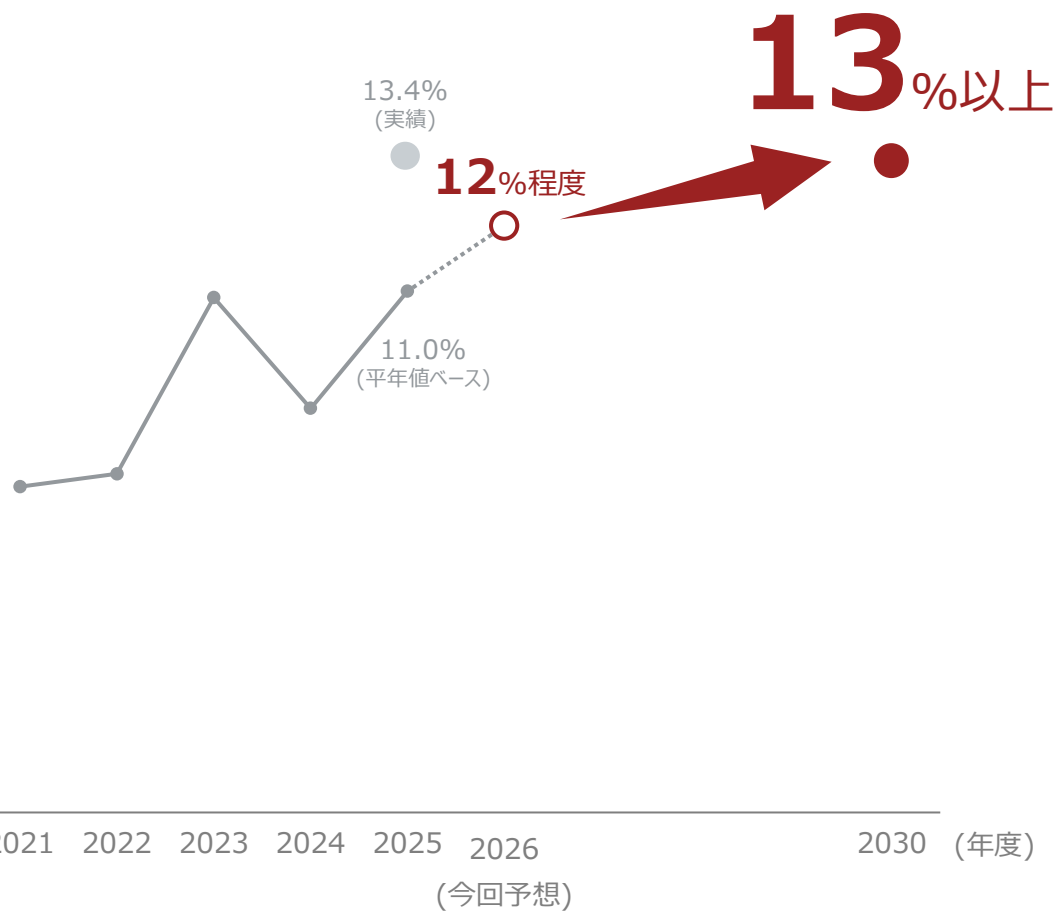


修正EPS成長率は
中計目標を大きく上回る見込み

SOMPO

*1 SOMPOは、中計期間（2024～2026年度）の修正EPS成長率（年率）
*2 グローバルピアのEPS成長率目標は各社公表の中期経営計画資料等をもとに平均値を当社算出

修正連結ROE



- 修正連結ROEは**着実に向上**
- 中期的に**13%以上**に安定的に引き上げ

ROE向上策	2026年度の主な取組み
オーガニック成長	既存事業の収益性改善
成長投資	ボルトオンM&A (Service Insurance Companies、Fator Seguradora)
資本調整	機動的に実施へ

現中期経営計画のアチーブメント

収益構造の抜本改革、規律ある成長投資を有言実行し、強固な成長基盤を確立

SOMPO P&Cの進捗

運用収益向上

投資損益増加分

+**70**百万ドル

再保険コスト最適化

再保険料削減額

△**60**億円

海外保険事業の成長

Aspen買収効果

利益貢献

450億円

PMIシナジー発現

60百万ドル

規模拡大

地理的拡大 +**15**億ドル

ボルトオン合意 **2**件

SJ-R

保険引受利益改善

コンバインドレシオ改善

△**5.7**pt*1

業務改善計画進展

効果継続・効果定着 割合

99%*2

ウェルビーイング事業の立ち上げ

介護の生産性改革

「未来の介護」の進展

+**40**億円

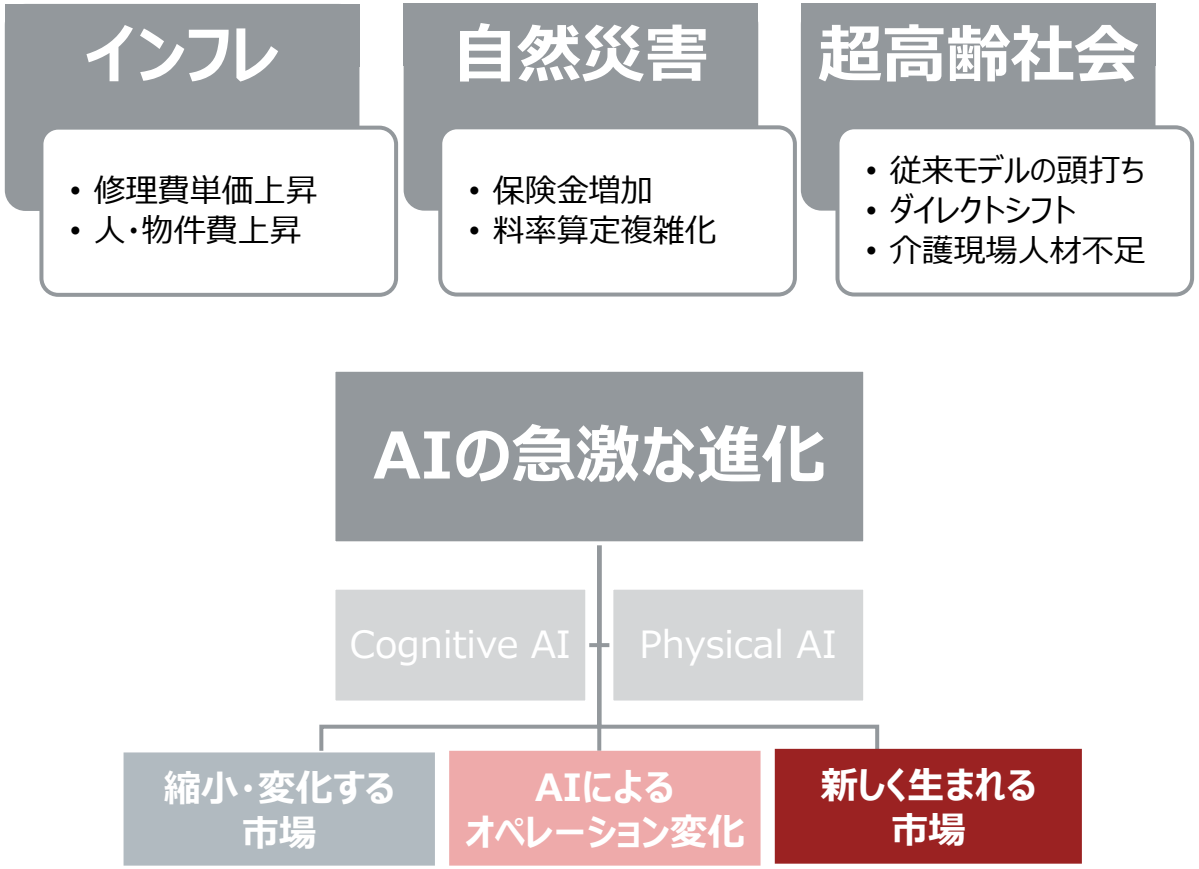
ミッシングピースの獲得

鎌倉新書・RIZAP
との提携

*1 2026年度（今回予想、除く自賠責・家計地震、2023年度比）、日本基準　*2 2026年10月末時点

環境変化

喫緊の環境変化／AI時代の環境変化



喫緊の環境変化に対して
レジリエンス強化が必須

未来のAI進化や社会課題に対して
ビジネスモデル刷新へ

中期的挑戦

レジリエンスの強化

利益成長

修正連結利益目標

8,000億円
（CAGR＋10%以上）

国内損保事業モデル転換
さらなる収益性の改善、ダイレクト戦略

海外保険収益構造強化
保険引受の強化

コスト構造改革
SOMPO P&C体制

詳細は p.11,17,18

成長投資

政策株式削減加速
を踏まえた創出資本

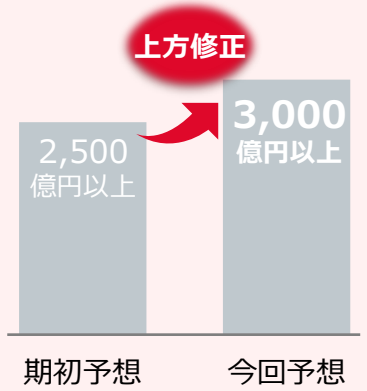
1兆円以上

海外P&C領域
分散効果、ROE貢献

ウェルビーイング領域
ミッシングピース

新事業・AI基盤投資
ROI、AI実装

- ボラティリティ抑制と成長投資に向け
  政策株式削減を加速
  今年度は**3,000億円以上**削減へ**上方修正**



- 資本創出力を強化し、強固なレジリエンスを確立
- ROE向上に資する成長投資を模索
  案件がない場合は**資本水準を調整**

ダイレクト戦略の進展

データドリブンなプライシングにより収益性改善とトップライン拡大を両立、環境変化に向けて利益成長を加速

マーケティング

✓ 優良セグメントの見積件数割合
+6.5pt

✓ 優良セグメントにおける成約率
+2.0pt

(2025年4月 vs 2026年9月)

優良セグメントの集客数拡大

プライシング

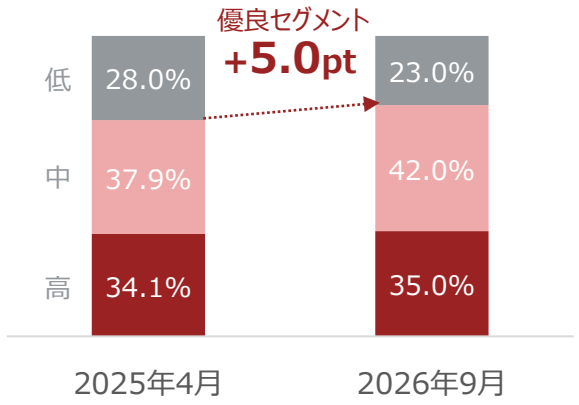
料率改定回数

7回（通期） 2025年度　**4回（半期）** 2026年度

予測最終損害率
△5.0pt

(2025年5月 vs 2026年9月)

優良セグメントにおける価格競争力強化



修正利益

+33億円

△6億円 》 27億円

2025年度　2026年度(予想)

収益性

コンバインド・レシオ
△3.4pt

101.2% 》 97.7%

2025年度　2026年度(予想)

新規契約

自動車新規営業保険料
+28%

95億円 》 121億円

2025年度　2026年度(予想)

長期的挑戦

ビジネスモデル刷新

縮小・変化する市場

- 自動車保険（個人・商用）
- 住宅保険・企業火災保険
- 産業用ロボット保険

AIによるオペレーション変化

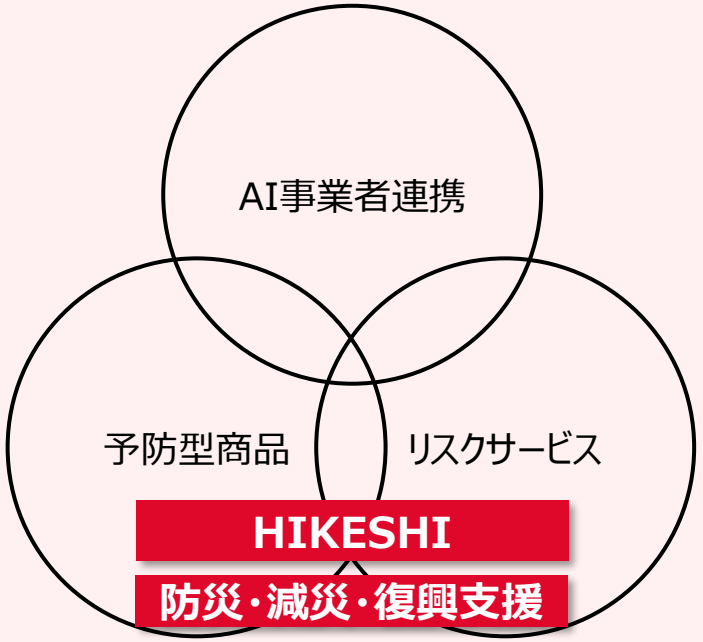
- AIエージェント向け販売
- AIネイティブ保険会社

新しく生まれる市場

- AIセキュリティ
- AIデータセンター
- 宇宙

AI・フィジカルAIプラットフォームを構築、
新たな成長モデルを確立

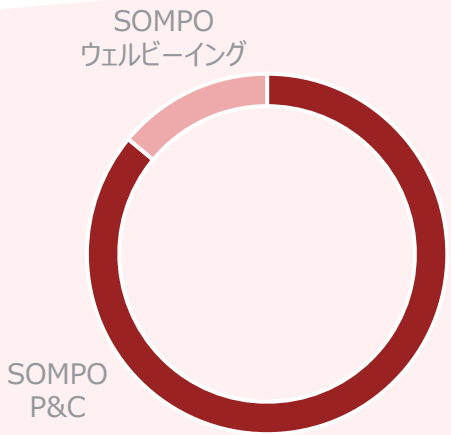
New 11/12発表
介護分野における**フィジカルAI**の社会実装に向けて
NTTとパートナーシップ協定を締結

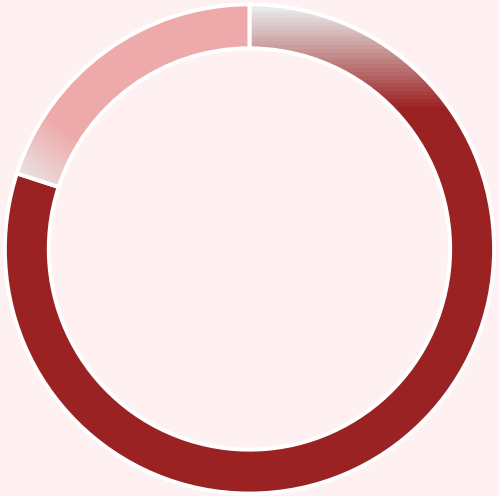


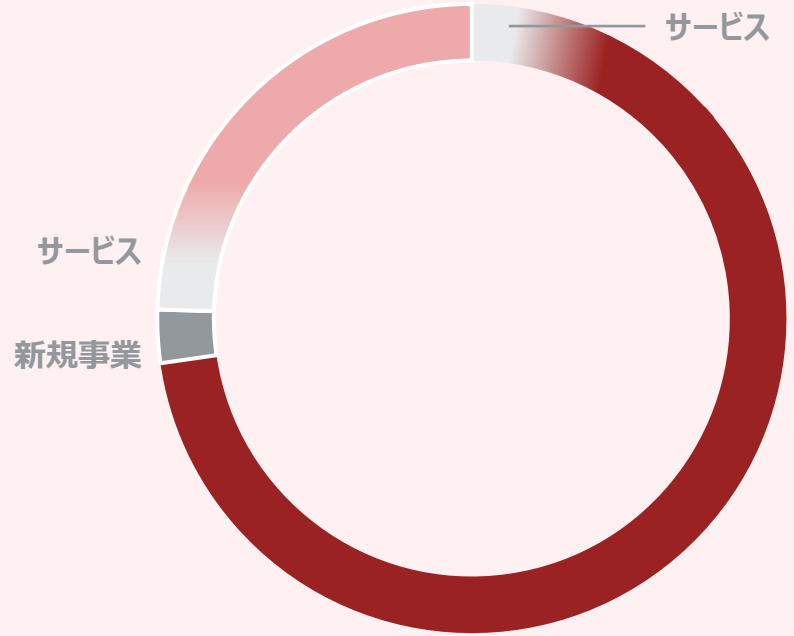
長期的に目指す姿

未来にわたるROE拡大および規模の拡大を追求し、持続的な価値創造を実現

	2026年度(予想)	中期的目標	長期的目標
修正連結ROE	12%程度	13%以上	さらに拡大
修正連結利益	5,400億円	8,000億円	さらに拡大





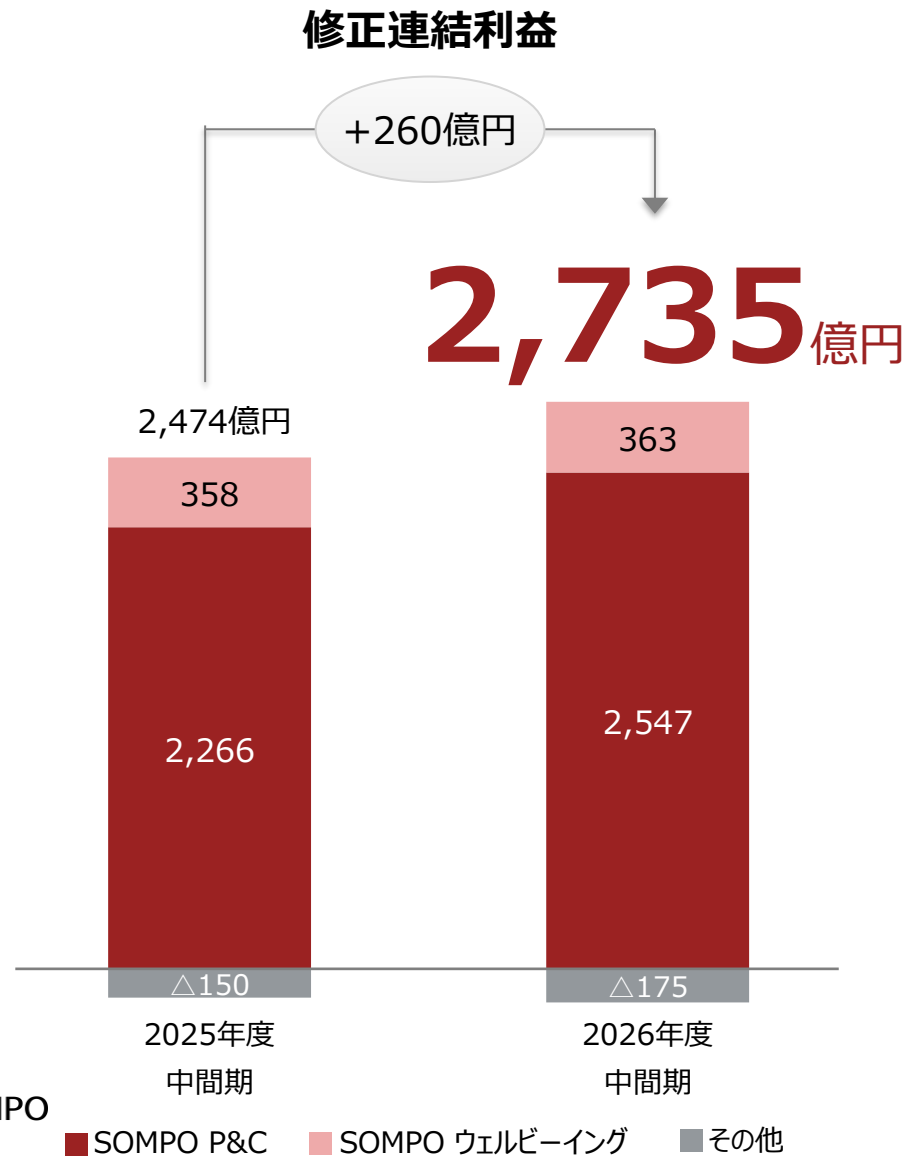




Group CFO Update

足もとのレジリエンス・収益性向上は着実に進展

2026年度中間期決算



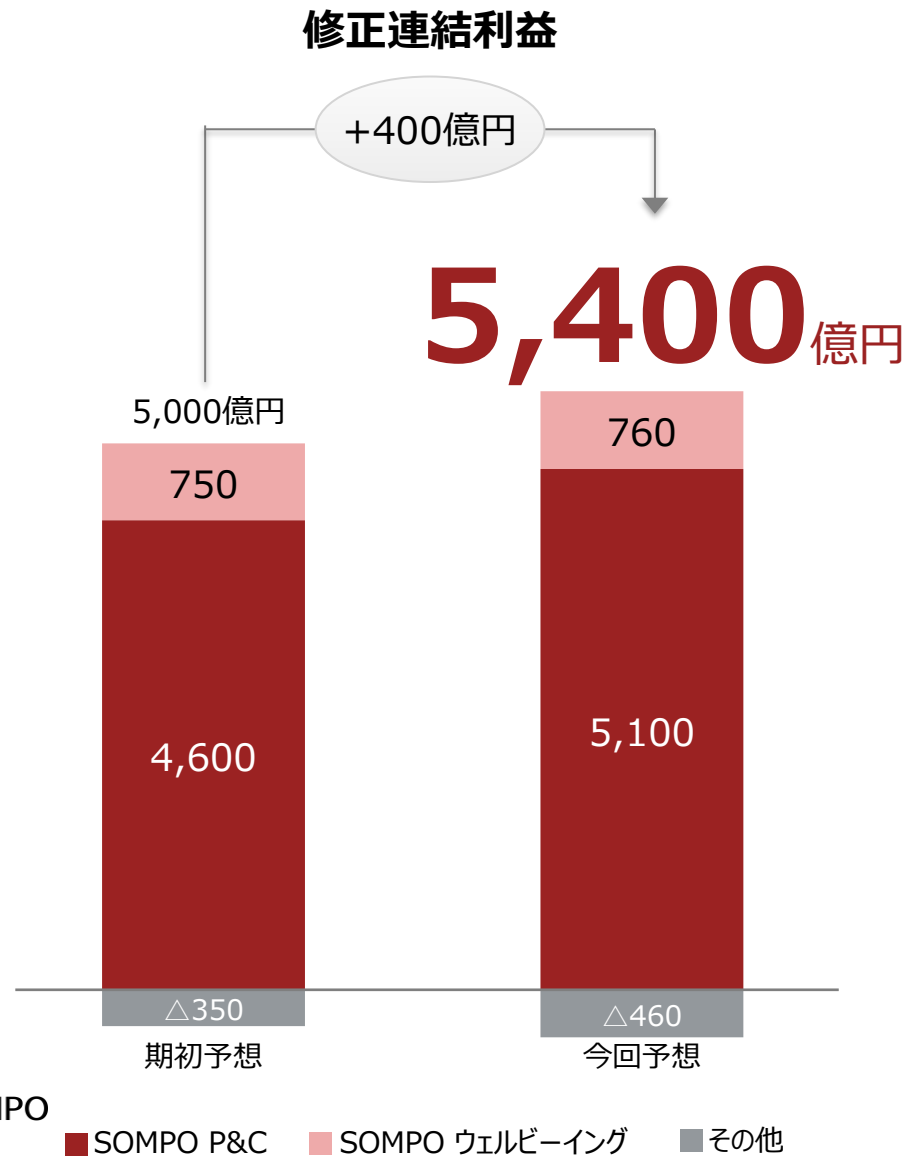
- 国内損保事業の収益性改善を主因に増益
  （中間期としては**過去最高益**）

- **SOMPO P&C　+281億円**
  国内損保事業　+187億円
  自動車の料率改定効果
  商品改定・アンダーライティング強化による火災・新種の収支改善

  海外保険事業　+93億円
  自然災害増や備金強化の影響を
  Aspen買収効果、好調な投資損益でオフセット

- **ウェルビーイング事業　+4億円**
  介護事業の順調な収益積み上げ

2026年度通期業績予想



- 自然災害影響減少や国内損保における収益性改善を主因に、通期業績予想を**上方修正（過去最高益更新へ）**

- **SOMPO P&C　+500億円**
  - 国内損保事業　+500億円
    - 自然災害影響の減少
    - 火災・新種保険の収益性改善
  - 海外保険事業　期初予想から変更なし
    - 自然災害影響の減少
    - 備金の強化

- **ウェルビーイング事業　+10億円**

レジリエンス強化の進捗 – SOMPO P&C

国内損保の事業モデル転換と、海外の収益構造強化により、**強固なレジリエンスの基盤**を構築

国内損保事業

1 環境変化へのレジリエンス

火災保険のコンバインド・レシオ*1,2
104.6% → **83.3%** *3
2023年度 → 2026年度(予想)

大口事故期待値*4
△100億円

自動車の不正検知自動化率
65%

2 成長戦略

商品部門の機能拡充
20グループ → **47グループ**
2023年度 → 2026年度

AI活用率(週次)
86%
2026年度中間期

3 コスト構造改革

正味手数料率*1
20.9% → **19.1%**
2023年度 → 2026年度中間期

ITコスト削減効果*5
△110億円 拡大

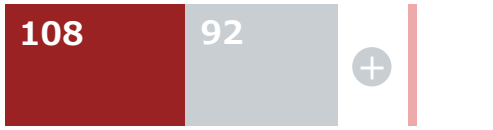
海外保険事業

1 ソフトマーケット下の戦略

カジュアルティ種目の拡大
リミット管理等による損害率の大幅改善(超過保険)
85% → **61%**
2019年 → 2026年(予想)

自然災害PML(予想最大損失率)
vs. 正味収入保険料
20% → **13%**
2019年 → 2025年

Aspen買収・事業費シナジー効果 2年前倒し達成



備金の強化
2026年度中間期・積増額
225百万ドル

2 成長戦略

投資損益
10億ドル → **21億ドル**
2023年度 → 2026年度(予想)

地理的拡大 1年前倒し達成
元受保険料 目標:**10**億ドル
2億ドル → **12億ドル**
2023年 → 2026年1～9月期

*1 日本基準 *2 平年値ベース *3 矢印は今後中期的に目指す方向性(以下同) *4 2026年度通期の期待値(2024年度比)
*5 2025実績・2026年度予想の累計数値

レジリエンス強化の進捗 – SOMPO ウェルビーイング

生保の利益成長と、介護の**「未来の介護」**モデルにより、資本効率と収益性を引き上げる

国内生保事業

1 ROE向上対策

中期的にROE**10**%以上を目指す

（主な打ち手）
- ✓ お客さまの拡大(商品開発体制強化等)
- ✓ 生命再保険の活用
- ✓ AI活用による生産性向上

生命再保険
2026年7月に**第1弾**完了

新契約ROR*1
14.2% (2023年度) ➡ **16.8**% (2026年度中間期)

変額保険累計販売ANP*2
50億円 (2023年度) ➡ **231**億円 (2026年度中間期)

介護事業

1 「未来の介護」展開



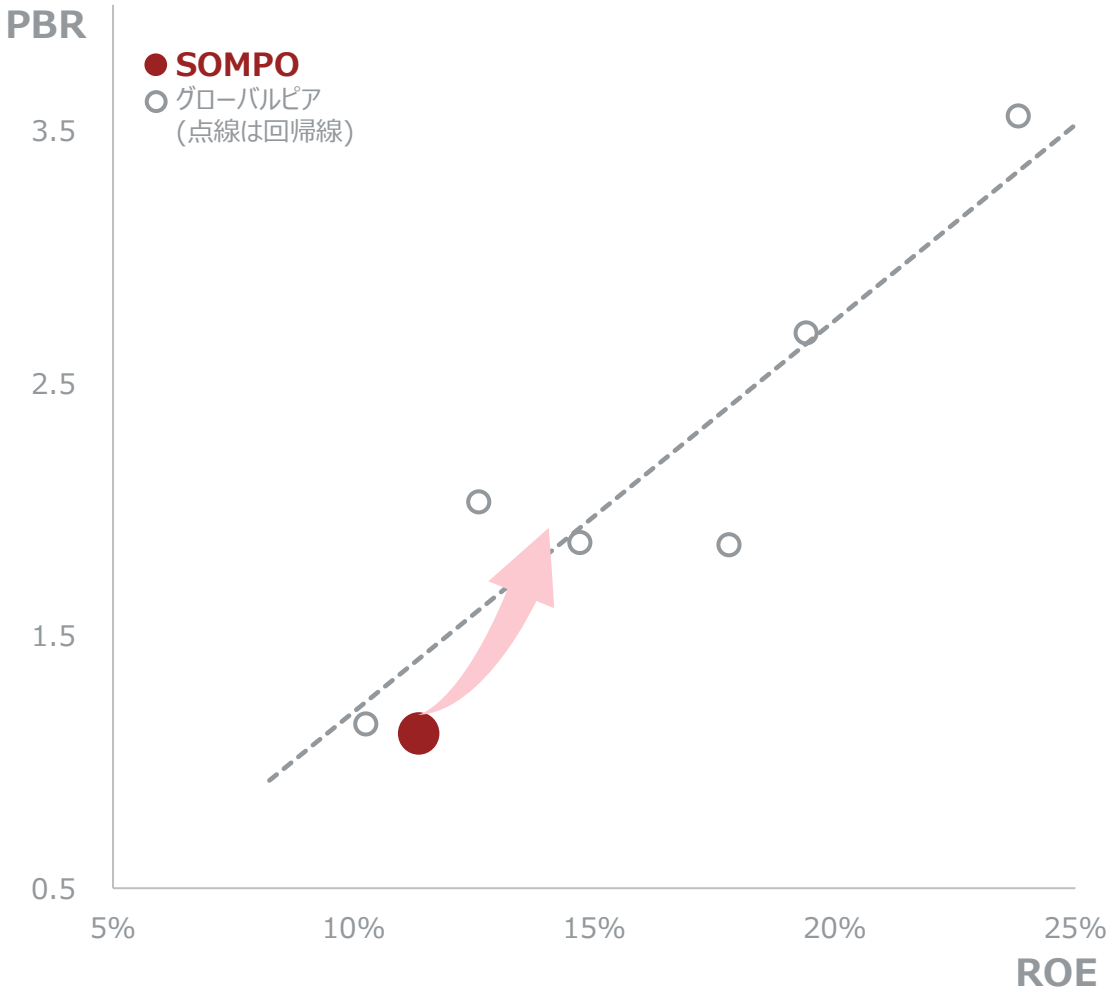
「未来の介護」
導入効果
(品質を伴う生産性向上)
1億円 (2023年度) ➡ **40**億円 (2026年度(予想))

新規収益源
介護保険外収入
5億円 (2023年度) ➡ **9**億円 (2026年度(予想))

*1 ROR：リスク量対比の収益性（Return on Risk）
*2 ANP：年換算保険料（Annual New Premium）

資本政策・株主還元方針

グローバルピアとのバリュエーション比較*



- オーガニック成長に加え、**成長投資**を着実に実行、
  ROE**13%**以上の達成に向けてトラックレコードを積み上げ
- 成長投資の実行状況を踏まえつつ、
  機動的な資本水準調整も併せて実行へ
- 配当性向50%に向け、
  利益成長を上回る配当成長を実現

SOMPO

*グローバルピアはAllianz、AXA、Generali、Zurich、MS&AD、東京海上(順不同)
Bloomberg等から当社算出

将来予想に関する記述について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【お問い合わせ先】

SOMPOホールディングス株式会社

ＩＲ室

電話番号　：　03-3349-3913

Email　：　ir@sompo-hd.com

URL　：　https://www.sompo-hd.com/